

初証言

新シリーズ
～福音となったイエス～

2026・1・25

五旬祭の日の奇跡

- イエスが約束された通り聖霊が降った
 - 「激しい**風**が吹いて来るような音が天から聞こえ、彼らが座っていた家中に響いた」(使徒2:2)
 - 「**炎**のような舌が分かれ分かれに現れ、一人一人の上にとどまった。」(3)
- 120人が知らない言葉で話し出した
 - 「一同は聖霊に満たされ、“霊”が語らせるままに、**ほかの国々の言葉で話した**。」(4)
- 集まった人たちがその言葉を理解した
 - 「この物音に大勢の人が集まって来た。そして、だれもかれも、**自分の故郷の言葉が話されているのを聞いて、あつけにとられてしまった**。」(6)

使徒言行録2章12～41節

人々は皆驚き、とまどい、「いったい、これはどういうことなのか」と互いに言った。しかし、「あの人たちは、新しいぶどう酒に酔っているのだ」と言って、あざける者もいた。

すると、ペトロは十一人と共に立って、声を張り上げ、話し始めた。「ユダヤの方々、またエルサレムに住むすべての人たち、知っていただきたいことがあります。わたしの言葉に耳を傾けてください。今は朝の九時ですから、この人たちは、あなたがたが考えているように、酒に酔っているではありません。そうではなく、これこそ預言者ヨエルを通して言われていたことなのです。

『神は言われる。終わりの時に、わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたたちの息子と娘は預言し、若者は幻を見、老人は夢を見る。わたしの僕やはしためにも、そのときには、わたしの霊を注ぐ。すると、彼らは預言する。上では、天に不思議な業を、下では、地に徴を示そう。血と火と立ちこめる煙が、それだ。主の偉大な輝かしい日が来る前に、太陽は暗くなり、月は血のように赤くなる。主の名を呼び求める者は皆、救われる。』

イスラエルの人たち、これから話すことを聞いてください。ナザレの人イエスこそ、神から遣わされた方です。神は、イエスを通してあなたがたの間で行われた奇跡と、不思議な業と、しるしとによって、そのことをあなたがたに証明なさいました。あなたがた自身が既に知っているとおりです。

このイエスを神は、お定めになった計画により、あらかじめご存じのうえで、あなたがたに引き渡されたのですが、あなたがたは律法を知らない者たちの手を借りて、十字架につけて殺してしまったのです。しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかったからです。

ダビデは、イエスについてこう言っています。『わたしは、いつも目の前に主を見ていた。主がわたしの右におられるので、わたしは決して動揺しない。だから、わたしの心は楽しみ、舌は喜びたたえる。体も希望のうちに生きるであろう。あなたは、わたしの魂を陰府に捨てておかず、あなたの聖なる者を朽ち果てるままにしておかれない。あなたは、命に至る道をわたしに示し、御前にいるわたしを喜びで満たしてくださる。』

兄弟たち、先祖ダビデについては、彼は死んで葬られ、その墓は今でもわたしたちのところにあり、はっきり言えます。ダビデは預言者だったので、彼から生まれる子孫の一人をその王座に着かせると、神がはっきり誓ってくださったことを知っていました。そして、キリストの復活について前もって知り、『彼は陰府に捨てておかれず、その体は朽ち果てることはない』と語りました。神はこのイエスを復活させられたのです。わたしたちは皆、そのことの証人です。それで、イエスは神の右に上げられ、約束された聖霊を御父から受けて注いでくださいました。あなたがたは、今このことを見聞きしているのです。ダビデは天に昇りませんでした。彼自身こう言っています。『主は、わたしの主にお告げになった。「わたしの右の座に着け。わたしがあなたの敵を／あなたの足台とするときまで。」』だから、イスラエルの全家は、はっきり知らなくてはなりません。

あなたがたが十字架につけて殺したイエスを、神は主とし、またメシアとなさったのです。」

人々はこれを聞いて大いに心を打たれ、ペトロとほかの使徒たちに、「兄弟たち、わたしたちはどうしたらよいのですか」と言った。すると、ペトロは彼らに言った。「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。この約束は、あなたがたにも、あなたがたの子供にも、遠くにいるすべての人にも、つまり、わたしたちの神である主が招いてくださる者ならだれにでも、与えられているものなのです。」

ペトロは、このほかにもいろいろ話をして、力強く証しをし、「邪悪なこの時代から救われなさい」と勧めていた。ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に三千人ほどが仲間に加わった。

語り出したペトロたち

- 集まった人たちの反応

- 「いったい、これはどういうことなのか」
- 「あの人たちは、新しいぶどう酒に酔っているのだ」

- 語り出したペトロたち

- 「すると、ペトロは十一人と共に立って、声を張り上げ、話し始めた。『知っていただきたいことがあります。わたしの言葉に耳を傾けてください。』」

- 酒に酔っているわけではありません

- 「今は朝の九時ですから、この人たちは、あなたがたが考えているように、酒に酔っているわけではありません。」

旧約聖書の預言の成就

- この出来事は予言の成就である
 - 「そうではなく、これこそ預言者ヨエルを通して言われていたこと(3:1-5)なのです。」
 - 突然の出来事ではなく神の計画によるもの
- すべての人が預言したのだ！
 - 「わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなたたちの息子と娘は預言し…」
 - 「ほかの国々の言葉で」「神の偉大な業を語」ったのは、聖霊がすべての人に注がれた証拠だ！
- 十字架の際の出来事も預言されていた
 - 「太陽は暗くなり、月は血のように赤くなる。」

旧約聖書の預言の成就

- この出来事は予言の成就である

- 「そうではなく、これ
れていたこと(3:1)

- 突然の出来事では

ペトロはこれらの言葉を
暗記していた！

- すべての人が預言していた！

- 「わたしの霊をすべての人に注ぐ。すると、あなた
たちの息子と娘は預言し…」

- 「ほかの国々の言葉で」「神の偉大な業を語」った
のは、聖霊がすべての人に注がれた証拠だ！

- 十字架の際の出来事も預言されていた

- 「太陽は暗くなり、月は血のように赤くなる。」

いよいよイエスの証言

- イエスは「神から遣わされた方」だった
 - 「神は…奇跡と、不思議な業と、しるしとによって…証明されました。あなたがた…知っているとおり」
- この方をあなたがたは殺してしまった
 - 神が「お定めになった計画により」引き渡された
 - 「あなたがたは…十字架につけて殺してしまった」
- しかし神はイエスを復活させた
 - 「しかし、神はこのイエスを死の苦しみから解放して、復活させられました。イエスが死に支配されたままでおられるなどということは、ありえなかったからです。」

イエスの復活は予言されていた

- ダビデが予言していた
 - 「ダビデは預言者だった」
- 聖なる者は死んだままにならない
 - 「あなたは、わたしの魂を陰府に捨てておかず、あなたの聖なる者を／朽ち果てるままにしておかない。」(詩編16:8－11)
 - ダビデは死んだままなのだから、この言葉はダビデのことではない
- 復活の証人となる
 - 「神はこのイエスを復活させられたのです。わたしたちは皆、そのことの証人です。」

イエスは天に昇られた

- イエスは復活して神の右に坐された
 - 「イエスは神の右に上げられ、約束された聖霊を御父から受けて注いでくださいました。」
 - 「あなたがたは、今このことを見聞きしているのです」<知らない言葉で話した弟子たちが証拠
- ダビデも予言している
 - 「わたしの右の座に着け。わたしがあなたの敵を／あなたの足台とするときまで。」(詩編110:1)
- イエスは主でありメシアとなられた
 - 「あなたがたが十字架につけて殺したイエスを、神は主とし、またメシアとなさったのです。」

悔い改めた人たち

- 「大いに心を打たれ」た人たちが反応する
 - 「兄弟たち、わたしたちはどうしたらよいのですか」
- ペトロの勧め
 - 「悔い改めなさい。めいめい、イエス・キリストの名によって洗礼を受け、罪を赦していただきなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けます。」
- 最初の受洗者
 - 「ペトロの言葉を受け入れた人々は洗礼を受け、その日に**三千人ほど**が仲間に加わった。」

「福音」になったイエス

- イエスはこの世を去ったが
 - 実際には存在していない
- イエスは約束された救い主である
 - 旧約聖書に予言されたとおりのことが起こった
 - すべては**神の計画通り**の出来事である
- イエスは今も生きている
 - イエスは**復活し、神の右に坐され、聖霊を送られる**
- 悔い改めて洗礼を受けるならば救われる
 - **「主の名を呼び求める者は皆、救われる。」**